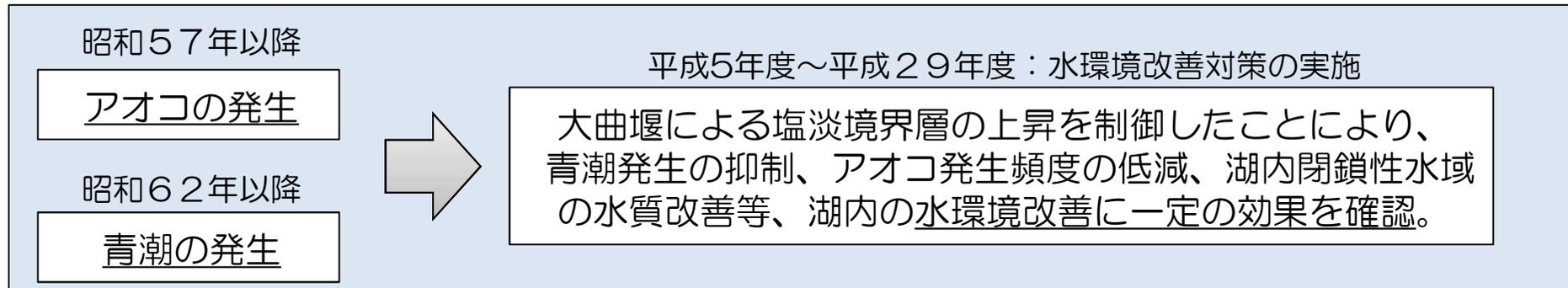


汽水環境保全方策の考え方

令和2年12月14日

水環境改善の経緯



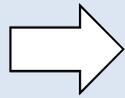
新たな事象

- 大曲堰の運用による塩淡水境界層の低下や気候変動等の影響によると考えられる平成28年8月の大雨により、淡水層の塩分が低い状況が確認され、網走湖を代表するヤマトシジミの産卵不振や再生産への影響等が生じている可能性がある。
- 地域の要望を踏まえ、平成30年度から大曲堰を運用した結果、強風により青潮が発生し、オホーツク海を代表するサケ・マスの降海や遡上行動にも影響が波及している。

新たな事象に関し、網走湖における汽水環境の保全を図るための方策について技術的な検討を進めていく必要がある。

【塩淡水境界層に着目した方策】

- 淡水層の塩分を上昇させるためには、塩淡水境界層を上げることが効果的。
- 青潮やアオコの影響を軽減するためには、塩淡水境界層を下げることを効果的。



塩淡水境界層の制御のみで、青潮やアオコの影響軽減と淡水層の塩分上昇の両方を達成することは難しい。

【淡水層及び塩水層に着目した方策例】

淡水層への対策 (淡水層の塩分上昇方策)

- ・ 海水の供給
- ・ 塩水層（下層水）との混合
- ・ 塩の投入
- ・ 淡水層への河川水流入抑制等

(アオコの影響軽減)

塩水層への対策 (青潮の影響軽減方策)

- ・ 底質の改善、除去
- ・ ヘドロの浄化
- ・ 底層への酸素供給
- ・ 塩水層（下層水）の排出等

早急な対策の実施が望まれる淡水層の塩分上昇方策を試行的な対策として検討するとともに、塩水層への対策を含め、長期的な対策を検討する。

※ 試行的対策とは直ちにに取り組む対策、長期的対策とは地域と協議をして取り組むべき対策をいう。